

老球の細道⑭

「チーム」

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

【ガチョウはカモメのようにもてはやされたりはしない。ガチョウは年2回の渡り鳥の時に注目されるだけで、平凡な、ありふれた鳥と見なされている。

集団で一致協力することにより、一人で飛ぶのより70%は長く飛べる。先頭のガチョウは派手に振る舞い空気抵抗をくぐり抜け、自分の後ろに二羽分の役に立つ場所をもうける。するとカーレースなどで、トップを走る車の直後にはりつく車みたいに、自分たちの羽を打ち付けることがずっと楽になる。

どの鳥も順番で先頭を飛ぶ。疲れるとV字形の両端に扇形に広がり、休んだら群れを先に進ませるべく、V字形の頂点へと進んでいく。ガチョウは疲れたり、病気になると群れから離れなくていけないが、決して仲間から見捨てられることはない。群の丈夫な仲間が弱っている鳥を休息所まで連れていき、その鳥が再び飛べるように回復するまで待つ】

・・・元ルイジアナ州立大学コーチ・デイル・ブラウンの書簡より・・・

バスケットボールにおいて優勝するチームは皆、前述したガチョウのように「強い団結」を持っている。どんなに素晴らしい選手がたくさんいたとしても、団結できないチームはチャンピオンになれない。ごく普通の選手の集団でも、チームワークを重視した強固な団結力によってチャンピオンになったチームは数多くある。

デューク大学ヘッドコーチのマイク・シャシェフスキー（コーチ・K）は自身の勝利哲学を「こぶしの比喻」というキーワードで示している。5本の指が協力し合ってこぶしを作り上げる。このこぶしは、5本の指がばらばらであるときとは違って強力であり、ひとつの力となってまとまって働く。それぞれの指はある言葉を表す。“コミュニケーション” “信頼” “” 集団責任” “思いやり” “誇り”。他者とのかかわりを表す言葉のみで個人を表す言葉はない。これらの5つの言葉が一緒になって行動する時にチームに成功をもたらすということである。

今や世界最高のバスケットボールコーチと称されるコーチ・Kだけではなく、バスケットボール史上伝説的なコーチ、プレーヤーたちも「チーム」の大切さを訴えている。

\*レッド・アウエルバッハ（元ボストンセルティックスコーチ。NBAチャンピオン8回は史上最高）

「最も優れた選手5人を使わなくてはならない、と言う人もいるが、『チーム』としてぴったり合っている5人なら勝てる、ということがわかった」

\*ビル・シャーマン（NBAの優勝チームをコーチ。シュートの魔術師の異名をもつ）

「勝つための唯一の方法は、『チーム』のために犠牲をささげることである」

\*ジョン・ウードン（全米大学史上最多優勝10回を持つ元UCLAのコーチ）

「われわれのタイトルは、チーム全員が示した利己心のなさなしにはありえなかっただろう。チームが勝ったのであって、個人が勝ったのではない」

\*ビル・ウオルトン（UCLA在学時に全米大学選手権史上最高のプレーヤー）

「あたかも自分がチームで唯一のプレーヤーであるように言えば、チームは傷つく。これは団体競技であり、私はチームの一員に過ぎない。チームとして戦う5人が試合を決め

るのだ」

\*・デイル・ブラウン(元ルイジアナ州立大学ヘッドコーチ、シャキール・オニールの師)  
「誰が功労者なのか、などとみんなが考えないようにすれば、驚くほど大変なことが達成できる。そして一人一人が自分自身より大切なもの、つまりチームのために自分本位の考えを忘れる時、そのチームは勝利者になれる」

改めて、「チーム (TEAM)」とは何か。言葉がシンプルに言い表している。

T . . . . . Together (一緒ががんばろう)

E . . . . . Everyone (一人ではできないのでみんなでやろう)

A . . . . . Achievement (目標達成に向けて)

M . . . . . More (今よりさらに向上するために)